

長野県伊那地域

重点プロジェクト① 新たな森林管理システムの構築

市域の持続可能な林業・木材産業活動の推進に向けて

～伊那市 50 年の森林(もり)ビジョンの実現を目指して～

現状と課題

高齢化が深刻な問題となっている当地域においては、森林所有者の管理意欲の減退及び不在地主の増加等から、放置される森林が増加傾向にある。森林の持つ多面的機能を維持向上させ市民の暮らしを安全・安心なものにするためにも、森林経営管理制度を活用しつつ手入れのされていない森林を整備していく手法を確立する必要がある。

取組概要

市内にモデル団地を5か所(西春近、長谷非持、富県、手良、高遠藤沢)設定し、所有者への意向調査やドローンを活用した資源量調査及び外周等の境界明確化を実施した。

取組の成果・効果

長谷非持団地においては、意向調査の結果から森林組合と地元管理組合が今後長期委託契約を締結し、施業を実施していく方針が定まり、その他の団地については、意向確認のためのアンケート作業が完了。所有者の意向を GIS 上で把握するとともに、ドローンを活用した境界明確化作業を実施。これをもって各林業事業者とともに森林整備の方針について引き続き検討し、また本事業の取り組みを他のエリアにも波及させていく予定である。

取組が進んだ要因

取組を進めるにあたっては、モデル団地の近隣で施業実績のある林業事業体に協力を仰ぎながら意向調査から森林整備まで一貫して実施できるよう事前準備を行った。またドローンも活用することで、整備推進の支障となる境界問題にも取り組んだことで取り組みが進んだと思われる。

これから取組む地域へのアドバイス

意向調査、森林整備を進めるにあたっては山の状況を把握している森林組合や林業事業者、地区の方と連携して進めるとともに、GISを活用して所有者の意向を視覚的にも整理しながら進めることで効率よく進めることができると思われる。

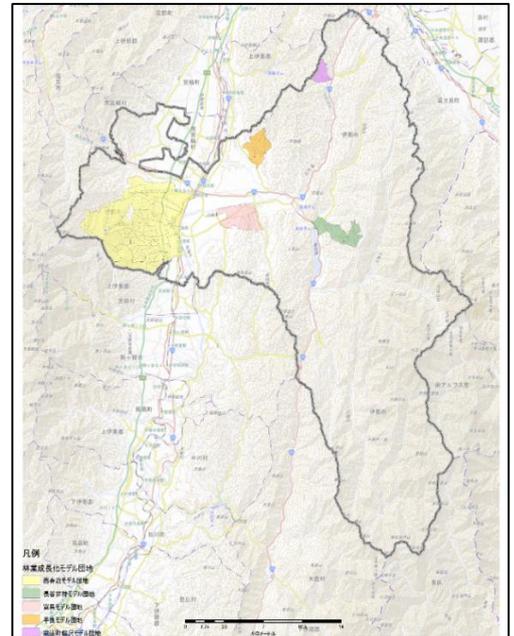


図1 5か所のモデル団地



図2 ドローンによる境界図の作成

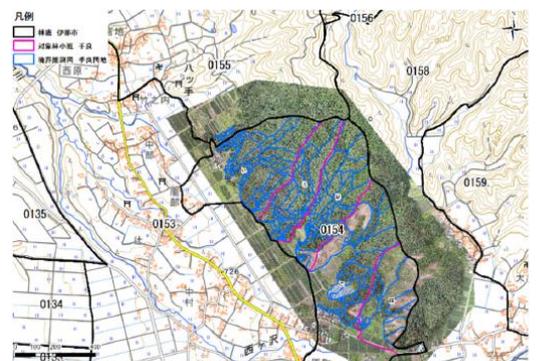


図3 ドローンで作成した境界図案

【担当】

伊那市 50 年の森林(もり)推進室 主任 向山 夏美

【連絡先】

メール: 26268@inacity.jp

電話: 0265-96-8127